

日本都市学会ニュース NO. 57

2024. 3. 31

発行 日本都市学会 〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部西野淑美研究室内
<事務局長>熊田俊郎 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/
郵便振替 00130-0-512255 日本都市学会本部事務局

2024 年度の学会運営について 日本都市学会会長 山崎健

すでに、2023 年度の第 1 回理事会において会長就任のご挨拶を致しましたが、会長任期 2 年目に入るにあたり、今年度の学会運営等に関しまして考えを述べる機会を頂きます。

日本都市学会は昨年で創立 70 周年を迎えました。70 年前に、日本都市学会は地域ごとに組織された地域都市学会の連合体として、会員の研究発展、知識の普及ならびに地域都市学会相互の連絡調整および内外の関連学・協会との連絡提携の場となり、都市に関する学術の進歩普及を図るとともに、都市の健全な発展に寄与することを目的として創立され、今日まで活動を継続してまいりました。

まさに、これらの本学会の目的・特性をふまえて、今後の学会の運営に当たってゆきたいと考えておりますので、会員の皆さま、どうかよろしくご支援、ご協力の程をお願い致します。

現時点にあたり、学会の課題として、2つのことを考えております。

1つは会員数の減少・構成会員の高齢化の問題です。これは、学会の活力の停滞や財政問題に直結する重要な課題です。

もう1つの課題は、分担事務局体制による学会の運営の問題であります。これまで、本部事務局・年報刊行・論文審査・学会賞選考などの学会の業務を各担当地域学会のボランティアに依存する形で、進めてまいりましたが、その業務遂行に関して、いくつかの問題点が指摘されております。

これらの課題を検討するために「学会活性化検討委員会（仮称）」の設置を提起し、各地域都市学会に委員を選出して頂き、今年度から議論を進めて頂きます。もちろん、各地域都市学会によって、この課題に関する状況・事情は異なると思いますが、それらの事も含めて、広く対応についても、ご議論頂ければと考えております。

また、理事会の開催方式ですが、大会時の理事会を除いて、当面オンラインと対面のハイブリッド開催で進める予定です。コロナ禍は落ち着いてきましたが、理事会への出席率のアップと、交通費負担の節約を勘案して、ハイブリッド開催とさせていただきます。

日本都市学会年報 VOL. 56 発行のご案内と 発行遅延のお詫び

日本都市学会年報 VOL.56 は 2024 年 1 月に発行され、会員各位に送付されました。本号は「グローバル社会における都市の脆弱性と“新常态”の模索」を特集として、第 69 回大会シンポジウムの内容に加え、査読付き論文 19 編、研究論文 3 編、学会の諸記録などが掲載され、総ページ数約 300 ページになっています。

学会員以外でもご希望の方には 1 冊 3,000 円でお頒けしております。注文は年報担当事務局までお願い申し上げます。

なお年報 55 号に引き続き 56 号と 2 号連続して刊行が大幅に遅れたこと、関係者の皆様には多大なるご心配とご迷惑をおかけすることとなりました。この点、会員の皆様には、衷心よりお詫び申し上げます。とりわけ執筆者、査読者、論文審査委員のみなさまには、ご多忙のなか期日をお守りいただきましたのに、このような事態となりお詫びの言葉もございません。

年報の刊行の大幅な遅延は年報刊行業務担当理事と近畿都市学会による年報刊行業務への対応の遅れに起因するものであり、深く反省をするとともに、近畿都市学会として次号以降は編集体制を抜本的に見直し万全の業務体制で臨む所存であります。みなさまには引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

日本都市学会第 70 回大会を 開催しました

日本都市学会第 70 回大会は、2023 年 11 月 3 日（金）・4 日（土）・5 日（日）に小田原市三の丸ホール小ホールとおだわら市民交流センターで開催されました。

【11 月 3 日（金）】エクスカージョンが 2 コースに分かれて行われ参加者は 35 名でした。

【11 月 4 日（土）】研究報告が計 16 件行われました。その後、日本都市学会山崎健会長の開会挨拶に続き、ご後援をいただいた小田原市長守屋輝彦市長に基調講演「2030 年に向けた小田原市のまちづく

り」、出石稔氏（関東学院大学法学部教授）、花田真一氏（弘前大学人文社会科学部准教授）、福田幸二氏（日立製作所研究員）に個別報告を行っていただきました。

これを受け「データにもとづいた都市政策の形成」と題するパネルディスカッションが行われました。コーディネーターの平井太郎氏（弘前大学大学院地域社会研究科教授）のもと、コメンテータとして守屋輝彦市長、奥真美氏（東京都立大学教授）を迎え、報告者と議論を行いました。最後に、主催地域都市学会である関東都市学会熊澤会長がご挨拶しました。

次いで、2023年度日本都市学会各賞の授賞式が行われ、学会賞（奥井記念賞）受賞者の後藤範章氏、論文賞受賞者の大伏玄泰氏への賞状の授与と受賞者からのスピーチがありました。

引き続き、日本都市学会 2023 年度総会が開催されました。

【11月5日（日）】研究報告が計18件行われました。

主催の関東都市学会の大会事務局には、小田原市との調整など準備に尽力いただきました。関係各位には厚く感謝申し上げます。皆さまのご協力のお蔭をもちまして、日本都市学会第70回大会を無事に開催することができ、心から感謝申し上げます。

第71回大会は石巻市で開催します

第71回大会は、2024年10月25日（金）・26日（土）・27日（日）に、石巻市魚市場を会場に開催される予定です。

2023年度日本都市学会賞等が決まりました

日本都市学会賞（奥井記念賞）

後藤範章氏（関東）『鉄道交通と巨大都市の社会学—「東京」の構造変動』日本評論社、2022年

選考理由

本書は、近代化の礎でもあった鉄道や駅の開業による、主たる研究対象2地域（戸田市、八潮市）の都市化の進展の態様と、当該地域を包含する巨大都市「東京」の構造変動の特徴を明らかにすることを目的とする。研究方法として、量的分析と質的分析を併用し、データの地図化にも取り組んでいる。研究目的は明確であり、本論の構成も論理的である。30年という長期的な視点に立って分析した点も特徴的である。

本書は、これまで十分に明らかにされてこなかった鉄道と駅の開業に伴う地域の都市化の特徴を実証

的に解明した点、そしてその視点を東京大都市圏の構造変動と結びつけて考察した点が評価される。都市圏の周辺地域が大都市圏を構成する「郊外地域」として組み込まれていく過程が詳細にかつ分析的に説明されている。SNS やテレワーク、副業等が台頭し始めた現在、鉄道による都市化のインパクトをモデル化した意義は大きい。部分的には、鉄道による東京大都市圏の機能高度化と都市圏成長の分析や、社会学や都市計画学の近年の議論を踏まえた考察などに若干不足を感じることもあるが、全体としては、構成・内容とも、奥井記念賞が授与される著作として十分な水準に達していると判断された。具体的には、特に都市に関する独創的な研究・調査である点、長年にわたる研究の蓄積の成果が我が国の都市研究に対し大きな貢献となる点で優れていると判断した次第である。

日本都市学会論文賞

大伏玄泰氏（北海道）

大伏玄泰・森傑・野村理恵「移動販売の利用拠点づくりの試行錯誤からみた地域生活の課題分析—北海道の過疎地域における事業展開に着目して—」『日本都市学会年報』54:193-201, 2021

選考理由

本論文は、北海道の過疎地域において実現されている移動販売事業者の巡回の試行錯誤に注目し、事業者が巡回地域との間で行う調整の経緯と実態を詳細に分析し、地域生活の持続を図る際の課題を明らかにした論文である。

過疎地域の2事業者の移動販売の事例という限定された事例研究であることは否めないが、移動販売についての拠点づくりの試行錯誤という独創的な切り口から、巡回時の詳細な追跡調査を分析し、常連客と近隣環境との関係性に言及しているところは高く評価できる。一方で、各コースに1回ずつ同乗したのみであり、もう少しデータの厚みがあれば、他地域との比較分析が可能となるのではないかとといった意見もあった。とはいえ、移動販売の拠点方式と個別方式に踏み込んで、実務上の細かい工夫を丹念に可視化した努力は、地域で展開する移動販売の有用な知見となり得る。よって、日本都市学会論文賞選考委員会は、本論文を2023年度の論文賞に値すると評価した。

なお、日本都市学会特別賞（学術共同研究賞および外国語著作賞）と同（まちづくり賞）の該当はありませんでした。

日本都市学会 2023 年度総会報告

2023年度日本都市学会総会は、2023年11月4

日(土) 17:10 から小田原市三の丸ホール小ホールで開催されました。関東都市学会熊澤健一会长を議長に選出して、以下の5議案が審議されました。その結果、いずれも原案どおり議決されました。また引き続き3件の報告がなされ、いずれも承認されました。総会の参加者は100名でした。また議事に先立ち山崎健会长から、学会活性化のための委員会の組織、年報刊行遅延に対するお詫び、担当者を複数置くことによる改善について発言がありました。

議案1 2022年度事業報告

(1) 日本都市学会第69回大会の開催

開催日時 2022年10月28日(金)~30日(日)
開催学会 日本都市学会・中部都市学会
開催都市 愛知県名古屋市
開催テーマ「グローバル社会における都市の脆弱性と“新常态”の模索」

(2) 日本都市学会年報の発行

VOL.55 「ラストベルト産業都市の再生と進化」
(2022年5月発行)

(3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

(4) 日本都市学会賞の選定

2022年3月15日 外国語著作賞推薦等締め切り
2022年4月末日 奥井賞・特別賞(学術共同賞)・特別賞(まちづくり賞) 締切
2022年9月 選考委員会開催、その後、第2回理事会において決定
2022年10月29日(土) 大会において授賞式

(5) 日本都市学会総会の開催

2022年10月29日(土)

(6) 理事会の開催

第1回理事会(2022年6月19日)
2021年度事業報告・決算案、2022年度事業計画・予算案、第69・70回大会予定、各事務局からの報告他

第2回理事会(2022年9月18日)
2022年度学会賞・論文賞等の決定、第69回大会予定、各事務局からの報告他

第3回理事会(2022年10月28日)
総会提出議案の決定、第69回大会直前確認事項、第70回大会予定、各事務局からの報告他

第4回理事会(2023年3月25日)
2022年度事業報告・決算見込み、2023年度事業計画・予算案等、第69回大会報告、第70回大会予定、各事務局からの報告他

(7) 日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュース No.54 2022年7月
日本都市学会ニュース No.55 2023年3月

議案2 2022年度決算

(自2022年4月1日至2023年3月31日)

収入の部(2022年度)(円)

科目	予算	決算
学会会費(当該年度分)	1,802,000	1,751,200
学会会費(過年度分)	0	14,800
年報売上高	500,000	414,000
雑収入	90,000	115,797
前年度繰越金	3,023,881	3,023,881
計	5,415,881	5,283,678

支出の部(2022年度)(円)

科目	予算	決算
大会関係費	500,000	300,000
理事会関係費	700,000	124,200
論文審査委員会関係費	50,000	0
年報関係費	1,250,000	1,039,355
(VOL.55)	(1,150,000)	(969,355)
(VOL.56)	(100,000)	(70,000)
学会賞関係費	100,000	48,564
事務局経費	500,000	300,278
備品費	10,000	0
雑費	60,000	0
予備費	2,245,881	0
次年度繰越	0	3,471,281
計	5,414,881	5,283,678

正味資産の部

資産(2023年3月31日現在残高)

郵便振替口座	¥2,489,268
三菱東京UFJ銀行奈良支店	¥982,013
手持ち現金	¥0
計	¥3,471,281

負債なし

議案3 2023年度事業計画

(1) 日本都市学会第70回大会の開催

開催日時 2023年11月3日(金)・4日(土)・5日(日)
開催学会 日本都市学会・関東都市学会
開催都市 神奈川県小田原市
開催テーマ「データにもとづいた都市政策の形成」

(2) 日本都市学会年報の発行

VOL.56 「グローバル社会における都市の脆弱性と“新常态”の模索」(2023年5月発行)

(3) 論文審査委員会

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

(4) 日本都市学会賞の選定

2023年3月 外国語著作賞推薦等締め切り
2023年4月 奥井賞・特別賞(学術共同賞)、特別賞(まちづくり賞) 推薦等締め切り

2023年9月選考委員会開催、同日第2回理事会において決定

2023年11月4日(土)大会において授賞式

(5)日本都市学会総会の開催

2023年11月4日(土)

(6)理事会および常任理事会の開催

第1回理事会 (2023年6月25日)

2022年度事業報告・決算案、2023年度事業計画・予算案、第70・71回大会予定、各事務局からの報告他

第2回理事会 (2023年9月24日)

2023年度学会賞・論文賞等の決定、第70回大会予定、各事務局からの報告他

第3回理事会 (2023年11月3日)

総会提出議案の決定、第70回大会直前確認事項、第71回大会予定、各事務局からの報告他

第4回理事会 (2024年3月)

2023年度事業報告・決算見込み、2024年度事業計画・予算案等、第70回大会報告、第71回大会予定、各事務局からの報告他

(7)日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュース No.56, 2023年7月

日本都市学会ニュース No.57, 2023年12月

議案4 2023年度予算

(自2023年4月1日至2024年3月31日)

収入の部

科目	2022年度	2023年度
学会会費(当該年度分)	1,802,000	1,700,000
学会会費(過年度分)	0	0
年報売上高	500,000	500,000
雑収入	90,000	100,000
前年度繰越金	3,023,881	3,471,281
計	5,414,881	5,771,281

支出の部

科目	2022年度	2023年度
大会関係費	500,000	500,000
理事会関係費	700,000	700,000
論文審査委員会関係費	50,000	50,000
年報関係費	1,250,000	1,250,000
(VOL.56)	(1,150,000)	(1,150,000)
(VOL.57)	(100,000)	(100,000)
学会賞関係費	100,000	100,000
事務局経費	500,000	500,000
備品費	10,000	10,000
雑費	60,000	60,000
予備費	2,245,881	2,601,281
計	5,415,881	5,771,281

議案5 理事の承認

2023・2024年度理事として以下の下線部の方が承認を受けました。

- (1) 支部会長理事: 松村茂(東北)、熊澤健一(関東)、磯部友彦(中部)、久隆浩(近畿)、平篤志(中四国)、石川雄一(九州)
- (2) 支部選出理事: 増田聡(東北)、熊田俊郎(関東)、西野淑美(関東)、井澤知旦(中部)、佐藤彰男(近畿)、田中晃代(近畿)、川瀬正樹(中四国)、山下宗利(九州)
- (3) 会務担当理事: 森傑(北海道)、松本行真(東北)、土居洋平(関東)、平井太郎(関東)、大塚俊幸(中部)、佐野光彦(近畿)、川田力(中四国)、有馬隆文(九州)

報告1 学会賞等について (省略)

報告2 日本都市学会第71回大会について(省略)

※本紙関連記事参照

報告3 日本都市学会会員数の状況

日本都市学会地域都市学会別会員数の推移

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
北海道	8	9	9	8	7	7
東北	66	65	60	58	56	53
関東	149	141	134	130	124	128
中部	92	90	86	84	80	80
近畿	153	149	137	132	117	114
中四国	43	43	47	45	46	46
九州	61	67	63	63	64	56
本部	1	1	1	1	0	0
合計	573	565	537	521	494	484

2023年度第2回理事会報告

2023年度第2回理事会は、2023年9月24日(日)13時30分から東洋大学白山キャンパス6号館1階第3会議室とZoomを併用する会議で開催されました。出席者は、山崎健会長、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、松本行真(以上対面出席)、増田聡、松村茂、磯部友彦、井澤知旦、久隆浩、佐藤彰男、田中晃代、平篤志、川瀬正樹、石川雄一、山下宗利、森傑、平井太郎、大塚俊幸、有馬隆文(以上Zoom出席)の各理事でした。議事の概要は以下のとおりです。

議題1 2022年度事業報告、決算

決算の確定値について報告がありました。総会前の理事会で監査報告を受けて、決算承認の審議を行うこととしました。

議題2 学会賞事務局関係

学会賞事務局より、学術共同賞、まちづくり賞等

の推薦はなく、奥井記念賞および論文賞の選考が行われたと報告がありました。次いで日本都市学会賞(奥井記念賞)選考委員会より、後藤範章『鉄道交通と巨大都市の社会学—「東京」の構造変動』(日本評論社、2022年)を奥井記念賞候補とする選考委員会案が報告され、原案通り、同書を2023年度日本都市学会賞(奥井記念賞)とすることに決定しました。

続いて日本都市学会論文賞選考委員会より、大伏玄泰・森傑・野村理恵「移動販売の利用拠点づくりの試行錯誤からみた地域生活の課題分析—北海道の過疎地域における事業展開に着目して—」(『日本都市学会年報』54号)の第一著者である大伏玄泰氏に論文賞を授与するという選考委員会案が報告され、原案通り、日本都市学会論文賞を授与することに決定しました。

議題3 年報事務局報告

後日、年報事務局から年報編集・制作の現状について報告がありました。

議題4 論文審査事務局報告

論文審査事務局報告より、本年11月30日の投稿締切り以後の審査スケジュール、論文審査事務の作業負担の多さに対応するため事務委託費を計上して欲しいこと、新年度に2024-25年度の論文審査委員の改選時期になる、との報告がありました。

議題5 第70回大会について

関東都市学会より、大会の準備状況と検討課題について報告がありました。

議題6 第71回大会について

東北都市学会より、第71回大会について、前回報告の通り2024年10月25、26、27日の3日間、石巻市の魚市場で開催するという内容で、現在詳細を詰めている。テーマは未定であるが、「災害と文明」といった内容を考えているとの報告がありました。

議題7 その他

(1)山崎会長より、学会活性化のための委員会を設けたいとの発言がありました。メンバーの案が示され、これについて意見が交わされました。委員会を発足させることを了承し、内容を今後検討することにしました。

(2)年報刊行について意見が交わされました。近畿都市学会内から、担当者をチームとして支える仕組みを考えているとの発言がありました。また奥付の発行日を再検討すべきとの意見もありました。

2023年度臨時理事会報告

臨時理事会を、2023年10月18日(水)18:10から、Zoomによるオンラインで開催しました。出席者は、山崎健会長、松村茂、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、磯部友彦、川瀬正樹、山下宗利、土居洋平、平

井太郎、川田力の各理事です。議事の概要は以下のとおりです。

議題1 今年度の論文審査事務局への事務委託費の抛出に関して

本年度第2回理事会で論文審査事務局より提案のあった、事務委託費を2024年度予算案に計上するか否かを議題としました。4つの分担事務局のうち、一つの事務局にのみ事務委託費を計上することは整合性がとれないなどと意見があり、予算案に盛り込むことはしないことになりました。

2023年度第3回理事会報告

第3回理事会は、2023年11月3日(金)18:20から、小田原市 UMECO 会議室7を会場に開催されました。出席者は、山崎健会長、増田聡、松村茂、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、磯部友彦、井澤知且、久隆浩、田中晃代、平篤志、川瀬正樹、石川雄一、山下宗利、森傑、松本行真、土居洋平、平井太郎、大塚俊幸、佐野光彦、川田力の各理事、松山明、野々山和宏の各監事です。議事の概要は以下のとおりです。

議題1 総会議題確認

2022年度決算の理事会承認を行なった上で、2023年度総会議題を承認しました。

議題2 年報事務局報告

年報事務局より、11月配布予定の年報第56号の概要について説明がありました。また年報の刊行が遅れている現状について、対応と近畿都市学会としての取り組みについて説明がありました。さらに総会冒頭に山崎会長が挨拶を行ない、そこで年報刊行の遅れについての説明と対策について説明することとしました。

議題3 論文審査事務局報告

論文審査事務局より、大会報告時に報告者となっていない者を投稿論文の共著者に加えることについて照会があり、論文審査委員会に諮った上で受け付けないこととした旨報告されました。

議題4 学会賞事務局関係

学会賞事務局より、次年度学会賞等候補推薦についてスケジュール、応募方法等について説明がありました。

議題5 第70回大会について

関東都市学会より、すでに始まっている第70回大会について報告がありました。

議題6 第71回大会について

東北都市学会より、2024年度第71回大会の検討状況について報告がありました。

議題 7 その他

山崎会長より、学会活性化に関する委員会について、各地域都市学会から会長ともう1名の委員、加えて本部事務局からの委員で構成することを考えているとの説明がありました。

日本都市学会役員 (2024. 3. 31 現在)

会長 山崎健(近畿)

理事 (支部会長理事) 松村茂(東北)、熊澤健一(関東)、井澤知且(中部)、久隆浩(近畿)、平篤志(中四国)、石川雄一(九州)

(支部選出理事) 増田聡(東北)、熊田俊郎(関東)、西野淑美(関東)、磯部友彦(中部)、田中晃代(近畿)、佐藤彰男(近畿)、川瀬正樹(中四国)、山下宗利(九州)

(会務担当理事) 森傑(北海道)、松本行真(東北)、土居洋平(関東)、平井太郎(関東)、大塚俊幸(中部)、佐野光彦(近畿)、川田力(中四国)、有馬隆文(九州)

監事 松山明(中部)、野々山和宏(東北)

2024 年度学会賞等を募集しています

2024 年度の日本都市学会賞(奥井記念賞)および日本都市学会特別賞(学術共同研究賞、まちづくり賞)の募集が始まっています。学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼が送られていますので、各地域都市学会では、現物7部(献本)および推薦理由を添えて所定の期日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。なお、7部の献本が困難な場合、2部以上の献本、残りは借用でお願いいたします。

6月から選考委員の選考作業が開始され、9月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において授賞が決定されます。

分担事務局

■本部事務局(関東都市学会)

〒112-8606 文京区白山 5-28-20 東洋大学社会学部
西野淑美研究室内
事務局長:熊田俊郎 e-mail: info@toshigaku.org

■年報担当事務局(近畿都市学会)

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518 神戸学院
大学総合リハビリテーション学部佐野光彦研究室内
TEL&FAX: 078-974-1868
e-mail: micco.sano@gmail.com

■学会賞担当事務局(東北都市学会)

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1G-6C
近畿大学総合社会学部松本行真研究室内
TEL: 06-6721-2332 (内線 3262)
e-mail: matsu@socio.kindai.ac.jp

■論文審査担当事務局(中四国都市学会)

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
岡山大学大学院教育学研究科川田力研究室内
TEL: 086-251-7617
e-mail: tkawada@okayama-u.ac.jp

地域都市学会事務局

◎北海道都市地域学会

〒062-8520 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3-1 札幌
大学平井貴幸研究室内 TEL: 011-852-1181
e-mail: hirai@sapporo-u.ac.jp

◎東北都市学会

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1G-6C
近畿大学総合社会学部松本行真研究室内
06-6721-2332 (内線 3262)
e-mail: matsu@socio.kindai.ac.jp

◎関東都市学会

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1
関東学院大学社会学部小山弘美研究室内
Tel: 045-374-6047
e-mail: info@kanto-toshigakkai.com

◎中部都市学会

〒487-8501 春日井市松本町 1200 番地
中部大学人文学部大塚俊幸研究室内
TEL: 0568-51-9107/FAX: 0568-52-0622
e-mail: chubutoshi@isc.chubu.ac.jp

◎近畿都市学会

〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1
近畿大学総合社会学部久隆浩研究室内
e-mail: info@kintoshi.org

◎中四国都市学会

〒700-8530 岡山市津島中 3-1-1
岡山大学教育学部川田力研究室内
TEL: 086-251-7617
e-mail: tkawada@okayama-u.ac.jp

◎九州都市学会

〒840-8502 佐賀市本庄町 1
佐賀大学芸術地域デザイン学部山下・有馬・山口研
究室気付
TEL: 0952-28-8577
e-mail: ktoshigaku@gmail.com